

令和3年度

大子町教育行政点検評価に関する報告書

令和4年3月

大子町教育委員会

【 目 次 】

- 1 教育行政の点検及び評価について

- 2 主な事業の点検評価について
 - (1) 学校教育担当関係
 - ① 教育振興大会
 - ② 遠距離通学費補助事業
 - ③ 小中学校補修工事
 - ④ 英語指導助手招致事業
 - ⑤ 読書推進事業
 - ⑥ I C T教育環境整備事業

 - (2) 生涯学習担当関係
 - ① 放課後子ども教室推進事業
 - ② 図書館「プチ・ソフィア」の管理運営
 - ③ 大子町体育協会補助金
 - ④ コミュニティセンター施設整備事業

 - (3) 学校給食センター関係
 - ① 食育推進事業

 - (4) 大子幼稚園関係
 - ① 大子幼稚園の運営

1 教育行政の点検及び評価について

(1) 点検及び評価の実施

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、大子町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

(2) 実施方法

大子町教育行政点検評価委員会設置要綱第3条の規定に基づき委嘱された委員が事業を選定し、点検及び評価を行いました。

(3) 報告及び公表

評価結果の内容については、議会に報告後、公表します。

2 主な事業の点検評価について

令和2年度に実施された事業について、教育委員会事務局学校教育担当、生涯学習担当、学校給食センター、大子幼稚園からのヒアリングの結果を基に、下記のとおり事業を選定し点検及び評価を行いました。

(1) 学校教育担当関係

① 教育振興大会

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため大会は開催せず、大会要項及び表彰等運用基準に基づき、被表彰者を決定して表彰のみを行った。</p> <p>各学校から表彰候補者を推薦してもらい、表彰状の交付はそれぞれの学校で学校長から行った。</p> <p>【被表彰者】</p> <ul style="list-style-type: none">・勤務30年以上の教職員8名・特に教育振興に功績のあった者4名、優良団体1団体	
評価の内容	
<p>教育行政、家庭教育、学校教育、社会教育、福祉教育等それぞれの立場から大子町の子供たちのために尽力してきた方々の功績を讃える場を設けることは大きな意義を感じる。</p> <p>大子町の教育振興を図るための一機会としての役割は果たしていると思うので、今後も実施する方向で進めながら、コロナ禍での運営を契機に、開催日時や集客方法等、従来の式典やアトラクションを含めた運営の改善を検討されたい。</p>	

② 遠距離通学費補助事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>保護者の負担を軽減するため、小学校では、通学距離が2 km 以上で路線バスを通学手段としている児童の保護者に対し、年間の定期代を全額補助した。</p> <p>中学校では、通学距離が6 km 以上で自転車を通学手段としている生徒の保護者に対し、通学距離に応じて通学用品購入費として補助金を支給した。</p>	
評価の内容	
<p>自転車通学に係る維持費やバス定期券の購入費への補助は、家庭にとっても地域の存続にとっても大切な取り組みである。</p> <p>保護者の負担軽減と学習保障のための事業であり、今後も継続が必要であるが、補助対象の見直しも検討されたい。</p>	

③ 小中学校補修工事

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>施設の老朽化による要修繕箇所や、学校ヒアリングや学校からの定期報告により修繕要望のあった箇所を優先度を考慮の上予算化し、修繕工事を実施した。</p> <p>【主な工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校高圧設備改修工事（さはら小、大子西中、南中、生瀬中） ・小中学校トイレ改修工事（さはら小、上小川小、南中） ・だいが小学校体育館入口屋上防水工事 ・大子西中学校校舎裏駐車場舗装工事 ・小学校遊具補修工事（だいが小、袋田小、生瀬小） 	
評価の内容	
<p>地域の拠点でもあり、避難施設でもある学校は、細やかな修繕やトイレの洋式化、施設の整備が大切である。</p> <p>学校現場からの要望の吸い上げと点検、優先順位の十分な検討で計画的改善を図るとともに、施設の安全な管理、子どもたちの安全な活動を維持するため、緊急を要する修繕は先送りのない実施を望みたい。</p>	

④ 英語指導助手招致事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>小学校では、1、2年生に簡単な英会話の指導、3～6年生に対しては、外国語活動の授業に担任教師と一緒に参加し、英会話を中心とした授業を行った。</p> <p>中学校では、英語担当教員と一緒に授業に参加し、英会話や発音指導、聞き取りを中心とした授業を行った。</p> <p>委託先：株式会社インタラック 関東北 水戸支店</p>	
評価の内容	
<p>英語スキルの向上やグローバルな人材育成につながる事業であり、今後も継続を望む。</p> <p>委託先の選定にあたっては、ALTの人間性や指導力等を総合的に考え、安定した講師の派遣体制や経営の健全度等を十分に調査をした上で契約に努めてほしい。</p>	

⑤ 読書推進事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>「大子町児童生徒読書活動推進委員会」を組織し、各種事業を推進した。</p> <p>読書集会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、読書感想文コンクール入選作品について、FMだいで放送し作品集を製作することで、読書活動の啓発を行った。</p>	
評価の内容	
<p>「読書のまち」を掲げ、他の市町村にはない先進的な取り組みを継続してきたことにより、児童生徒、保護者の読書に親しむ習慣が定着しつつある。</p> <p>活字離れが進む中、児童生徒の読書活動を進める取り組みは大切であり、「大子町児童生徒読書活動推進委員会」を中心に、「読書のまち」にふさわしい活動に期待するとともに、学校図書館司書の充実を望みたい。</p> <p>また、事業の実施においては、委員のみでなく、子どもの意見にも耳を傾けてほしい。</p>	

⑥ ICT 教育環境整備事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>国補助金の活用により、町内小中学校の ICT 教育環境の整備を進めた。</p> <p>これにより、児童生徒 1 人 1 台端末の整備が完了し、オンライン授業や家庭学習にも対応できる ICT 教育環境が整った。</p> <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒用タブレットの購入（小学校 3 6 9 台、中学校 3 6 8 台） ・PC 充電機能付収納保管庫の購入（小学校 4 2 台、中学校 1 5 台） ・校内情報通信ネットワーク（LAN 環境）の整備（小中学校及び事務局） ・家庭学習用 USB 型 Wi-Fi ルータ購入 5 0 台 	
評価の内容	
<p>本事業により、児童生徒の学習を保障するネットワーク化の環境整備が実現できたことは、今後の ICT 教育の推進に期待が持てる。</p> <p>小中学校からの発達段階に応じた指導と行政としての ICT 教育環境整備は、これからも一層重視されると考えられるため、継続を望む。</p> <p>今後の適正運営や維持管理費の削減等も考慮しながら教育効果の向上に努めるとともに、端末を使用する児童生徒に対しては、適切な使用方法、保管方法等をしっかり指導いただきたい。</p>	

(2) 生涯学習担当関係

① 放課後子ども教室推進事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>「特定非営利活動法人ひと・まちねっとわーく」へ委託し、家庭、地域、学校及び行政の連携のもとに、放課後の子どもたちが学校から自宅へ帰宅するまでの間、安全かつ安心して過ごすことができる居場所を提供している。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・町立小学校は週5日、下校時刻から午後6時まで。・県立大子特別支援学校は週3日、下校時刻から午後4時50分まで。	
評価の内容	
<p>児童の放課後の安全で安心な居場所の提供先として、この事業の効果は大きい。保護者からは、仕事のため土日祝日も行ってほしいとの声もある。</p> <p>児童が地域の中で安心して健やかに育つよう、学校、運営委員会、委託先と連携し、利用者のニーズにあった運営や設備の充実など、更なる環境作りを期待したい。</p> <p>委託先の選定にあたっては、適切な委託費と地域に合った企画、提案内容の十分な検討と安定した運営先の厳選をお願いしたい。</p>	

② 図書館「プチ・ソフィア」の管理運営

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>町内唯一の公立図書館として、多様なジャンルの図書を提供しているとともに、読書活動を推進し、読書を通じて心の豊かさを育成している。</p> <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・読者のニーズに対応した図書の提供（年間約1,200冊前後を購入）・イベントの開催（プレゼント等の提供）	
評価の内容	
<p>施設の老朽化、蔵書数、立地場所等課題が多いが、住民の学びや憩いの場として重要な施設であるとともに、「読書のまち」としてなくてはならない。</p> <p>今後「読書のまち」にふさわしい図書館機能を十分に発揮できる施設として立地条件等を含めて、施設の改修計画なども望まれる。</p> <p>蔵書については、利用者の声に応えての購入など工夫されており、今後の利用者増に繋がる運営に期待したい。</p>	

③ 大子町体育協会補助金

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>町民の体育振興と各種団体の健全な育成強化を図り、スポーツを通じ会員相互の親睦とスポーツ文化社会を推進するため補助金の交付を行った。</p> <p>教育委員会が協会の事務局となり、会議、講習会、表彰及び加盟団体のまとめ役として県などの上部団体と連絡調整を行っているほか、加盟団体は独自の大会、講習会を開催するなど、それぞれ自主運営を行っている。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各団体においては事業の中止、縮小することとなり、補助金も一部返還された。</p>	
評価の内容	
<p>大子町体育協会所属団体は、加入者数の減少により会員の負担が増加しているが、会員相互の交流や団体を越えた繋がり、町の活性化につながっている。</p> <p>町の大きなイベントの一つである「奥久慈湯の里大子マラソン大会」をはじめ、各種団体への支援は、大きな力となって行事を支えていると言え、スポーツを通じた町民同士の交流、各種団体の健全な育成強化は重要であるため、補助金は継続すべきである。</p>	

④ コミュニティセンター施設整備事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>地域のコミュニティ活動が円滑に実施できるよう環境の整備を実施している。</p> <p>年内2回ほど教育長のコミュニティセンター訪問を実施して実情を把握し、修繕すべき箇所があれば早急に対応し、大きな予算を伴う場合は、次年度の当初予算に計上している。</p> <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各コミュニティセンターの修繕・補修工事 ・宮川コミュニティセンター屋根葺き替え工事、エアコン設置工事 	
評価の内容	
<p>コミュニティセンターの整備は、地域住民の活動を保証し、活性化させるためには重要であり、事業推進により今後のコミュニティ活動の活性化に期待が持てる。</p> <p>今後も老朽化が進む施設、設備が増えることは予想されるため、計画的に地域からの要望に応えることを望む。また、地域の活動拠点の場、児童生徒からお年寄りまでの学習の場、地域防災の拠点として活用されていることを考慮し、バリアフリー対応や災害に強い施設整備が求められる。</p>	

(3) 学校給食センター関係

① 食育推進事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>学校給食をとおして、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるように、給食だより、給食カレンダー、献立表、食習慣に関する月目標等を毎月発行した。また、栄養教諭及び栄養士が、各学校、幼稚園へ年1回訪問して栄養指導を実施した。更に、地産地消を推進し、地域の自然や産業などへの理解が深められるように、地元の野菜生産グループや大子清流高校芦野倉農場などから食材を優先的に仕入れ、地場産物を使用した給食を提供した。</p>	
評価の内容	
<p>施設、設備、調理従事者の衛生面も含めた安全な管理運営を図るとともに、地域活性化に寄与する地産地消を推進し、安定した食材の調達に努められたい。</p> <p>学校と学校給食センターとの連携で、地域の特産品、食文化、歴史等の教育を取り入れた食育の推進を図るとともに、児童生徒の意見を反映した給食の提供も検討していただきたい。</p> <p>さらに、保護者に対しての食育の重要性と給食費無料化の意義のPRの機会も併せて推進していくことが望まれる。</p>	

(4) 大子幼稚園関係

① 大子幼稚園の運営

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>「あかるく げんきで やさしい子」を教育目標に掲げ幼稚園教育を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの行事が中止となった。</p> <p>14時30分から16時までは、預かり保育を実施している。</p> <p>【令和2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none">・園児数 37名（年少4人、年中23人、年長8人）・クラス数 4（年少1、年中2、年長1）・職員数 12名 ※園長は教育委員会事務局長が兼務	
評価の内容	
<p>出生数が減少している中で、園児の在籍状況が大きく減少していないのは、幼稚園の「教育課程の充実」「預かり保育の実施」等が住民の要望に応じている証だと考えられる。</p> <p>特に預かり保育の実施については、共働き家庭から感謝され、今後も利用希望の増が期待されることから、受入体制の充実により、教育効果が上がることを期待したい。</p> <p>今後少子化による園児の減少等が懸念されるが、現在兼務の園長の専任化、人材の確保と働き方改革、運営における幼保一元化等の検討も必要になってくるのではないかと思われる。</p>	